

# 信州大学 教育学部 同窓会報

信州大学教育学部同窓会報

【第10号】

発行人 矢嶋直徳  
事務局 長野市西長野6ノロ  
信州大学教育学部  
教育実践研究  
指導センター内  
TEL (026) 232-8106 (代表)  
FAX (026) 234-5540

## 変化の中の不変

同窓会会長 矢嶋直徳



一昨年飯田市の中学校を  
お訪ねした時、校長室に掲  
げられていた東京教育大学  
名誉教授和田義信先生の色  
紙「変化の中の不変」が心  
に焼き付きました。それ以  
来私は、この言葉を思い起こす度に自分の幼い頃  
からのことが脳裏を横切ります。取り分け昭和三十  
年大学に入学した頃の事が鮮明に思い出されて  
来ます。当時は、旧松本女子師範の学舎に分校が  
あり、そこで二年間お世話になりました。

この松本分校にお世話になっている年にソ連が  
スプートニクを打ち上げました。すると、この頃  
を境にして大学への志願状況が大きく変化してき  
たように記憶しています。それは、教育学部への  
志願者よりも工学部への志願者が、その後急増し  
て行ったように思います。やがて長野県では、地  
方財政再建法の適応と共に教育学部卒業生の就職

への就職が冬の時代を迎えるようになったとも記  
憶しています。

一方、この年に免許法が改定されて小学校一級  
(一種)免許を取得するには、小学校の全教科の  
教材研究の単位を取らなければならなくなりまし  
た。これは大変なことでした。と言うのは、現在  
の方々には笑われることですが、学校に入学して  
以来音楽と言えば大きな声を出して歌うことしか  
知らなかった者に最低の条件として「バイエル五  
〇番以上が弾けなければいけない」と言うことが  
示されたからです。ピアノに触れたことがないば  
かりでなく、松本分校には練習用のピアノはスタ  
ンドピアノが三、四台しかなかった時代でしたか  
ら、私たちにとっては大変なことでした。また、  
次のようなこともありました。体育の教材研究  
は、学生の一人一人が小学校の教材を考えて来て  
他の学生を児童に見たてて模擬授業するものでし  
た。この時先輩の一人が、集団行動の指導の一つ  
として「右へならえ」「整列」等の号令のかけ方  
を教材として取り上げて行ないました。私たちは  
驚きでした。しかし、指導の山本先生は、これを  
大変感心してほめられました。と言うのは、今考  
えればたわいのない事ですが、既に戦後十年は経  
っていたのですが、当時の私たちには、このよう  
なことは軍国調と言われはしないかと避けていた

ところがありましたから。  
こうしてみると、時の流れと共により専門的で  
質の高いことやものが求められ必要とされ、事柄  
やもの事の本質に関わることになればなるほど、  
時代が変わろうと変わるものでないことを今更な  
がら教えられます。また、過ぎし日のことを振り  
返りみることは互いの土台を固め未来へのメッセ  
ージになるものがあると思います。  
本会の発展と会員各位のご健勝とご発展を祈念  
いたします。

## 信州大学教育学部同窓会

### 第五期役員

(正・副会長、顧問、幹事長)

- 名誉会長 小林 輝行 (信州大学教育学部)
- 顧問 松橋 英幸 (長野県学校給食会)
- 倉田 稔 (茶白山自然史館)
- 新井 好仁 (長野市教育委員会)
- 清水 正 (信濃教育会)
- 会 長 矢嶋 直徳 (鎌田中学校)
- 副会長 古川 玲子 (加茂小学校)
- 佐野 昌男 (北御牧中学校)
- 島田 孝司 (松本教育事務所)
- 横田 通 (信州大学教育学部)
- 北沢 競 (信州大学教育学部)

# 第八回同窓会総会報告

信州大学教育学部の平成七年度通常総会は、定例日である八月十一日(金)、長野市のホテル信濃路において、会員七十余名の参加を得て開催された。

手塚光晴副会長の開会宣言、清水正会長の開会挨拶に続いて、議長団に荒川益雄・小林重勝、議事録署名委員に杵淵恭宏・赤羽貞幸、書記に池田實・和歌月健人の各氏を選任して議事に入り、次ぎの三議案を審議した。

### ◎第一号議案

平成六年度事業報告書、及び収入・支出決算報告書・財産目録の承認に関する件

久保幹事の事業報告、北沢幹事の会計報告が、それぞれ総会資料に基づいて行われ、清水監事から「会計は適正に処理されている」旨の監査報告があつて、全会一致で承認された。

### ◎第二号議案

平成七年度事業計画書案、及び収入・支出予算書案の承認に関する件

佐野幹事から事業計画案、北沢幹事から収入・支出予算案が、それぞれ総会資料に基づいて行われ、審議の後原案通りに承認された。事業計画の主要なものは、次ぎの通りである。

#### 一、会報発行

第九号の会報を発行する。

#### 二、研究助成

文部省海外派遣制度による留学生への補助をする。

#### 三、学部後援

学部及び大学院の充実援助をする。

#### 四、組織充実

支部組織化の促進、会費納入の促進をする。

五、長期構想計画 長期構想を継続検討する。

### ◎第三号議案

役員改選に関する件

第四期役員任期満了に伴い、第五期役員に関して提案され、原案通り次ぎの各氏を選任した。会長に矢嶋直徳氏、副会長に古川玲子・佐野昌男・島田孝司・横田通の各氏、監事に清水厚実・松林大の各氏。

また顧問には清水正会長が推挙され、全会一致で承認された。



講師 吉岡 忍氏

議事終了の後、小林輝行教育学部長、岡宮二郎信濃教育会会長の祝辞を戴き、総会を終了した。総会に続いてノンフィクション作家吉岡忍氏による「世紀末——世界に参加していくために」と題する講演(一般公開)があり、さらに午後の懇親会をもってすべての日程を終了した。

### 記念講演

#### 「世紀末——世界に

#### 参加していくために」要旨

講師 吉岡 忍 先生

私は色々な出来事の現場を尋ねて、現代の社会が分かりにくくなっている中で、新しい変化のきざしについて考える仕事をしてきました。

戦後社会の大きな変換点であったベルリンの壁と共に東西冷戦が崩れていった様子や、阪神大震災やオウム真理教の事件を現地で調べてみると、私達は何故そういう事件が起きるのか分からないままに、先が見えない現実を生きている様に思います。近代の民主主義や自由・平等・博愛といった理念を大事な価値と考え、合理的な考え方や効率主義を良しとしてきた常識が大きく揺らいでいるのだと思います。

人間を計画通りに動かすことは出来ないという証明として社会主義の崩壊があり、資本主義国はどこも元気がなく、弱肉強食の状況に至る所にあります。

アメリカでは車の中で暮らす働くホームレスが現れ、イランのホメイニ氏がイスラム教を冒瀆した作家に死刑宣告をしたことは、よく考えてみると西側の言う表現の自由が軽い無力なものであった事を暗示しており、学校教育の場で人間性や個性を尊重するといっても、海の魚が食卓にのぼるまでのコールドチェーン(冷凍の鎖)に代表され

るような現実の社会のシステムには個性が入る余地がなく、人間の持つ個人的な免疫機能を壊してしまうエイズという病気の出現に象徴されるように、近代が価値と考え前提としてきた人間中心の考え方が、今は崩れてきているのです。

今日日本で一番元気なところは、奇妙なことに神戸の被災地だと思います。全てを失った後で或種の解放感と強い孤独感が他者を必要とし、再建に向かう力になっていっているのです。

新しい都市計画の説明会でおばあさんが手を挙げて「お地藏さんをどこに作ってくれますか」と言い、オウムの若者たちが世の中の為に役立ちたいと願っても、私達の効率的な社会は、そのようになすき間がない社会になっていっていると思います。

人間が中心だということを始め近代が、ついに人間の不信と画一化に行き着いてしまった中で、もう一度私達は、人間の得体の知れない不思議さに、どうやって目を向けていくのかということとが大事だと思います。

人間というものは頼もしい時もありますし、つまらない、いい加減な所もいっぱいあります。神戸の人たちのように、私達の精神の在り方がどれだけ切実に他者を必要としているかを、どうしたら自覚できるかという問題になるかと思えます。

すき間や混沌を作り出して、その中に新しい人間に対する見方を作り上げること、強い人間によって危機を乗り越えろうとするのではなく、弱さや不思議さを持った人間の視点から、無力とイコールかも知れない自由、非能率かも知れない平等、偽善を含むであろう博愛という、弱点を持った理念を実践してみることが、今世界に参加していくことなのだと思います。

世界あらゆる場所でも不安が広がり、停滞が見られます。私達は問題の同一点に在るのだと思います。その中でもう一回人間を再把握すること、弱いかも知れない理念でも

う一回結び付けてみることに、そのことで次の時代、新しい世紀の理念を作っていくことを、私は考え、夢見たいと思う訳です。(記録 飯田忠文)

### 恩師の訃報

(平成六年十月〜平成八年四月までに)

大学の方へ連絡のあった先生方です)

ご冥福をお祈りいたします。

○櫻井敏雄(さくらい・としお)先生  
(平成六年十月十四日没)

大正十五年四月一日生。東京都出身。昭和二十三年東北大学卒業。昭和六十一年四月理化学研究所退職後五月より理科教育化学担当の教授として着任。昭和六十二年十一月より二期四年間志賀自然教育研究施設施設長を併任。平成三年三月停年退職。専門はX線結晶学。理学博士。

○羽田健二(はねだ・けんぞう)先生  
(平成六年十一月二十一日没)

大正十年一月二十九日生。長野県出身。昭和十九年九月東京高等師範学校卒。昭和二十七年四月着任。昭和四十三年教授。昭和四十八年十二月より六期十二年間志賀自然教育研究施設施設長を併任。昭和六十一年三月停年退職。動物生態学担当。専門は動物生態学(特に鳥類及び哺乳類生態学)。理学博士。名誉教授。

○吉岡利治(よしおか・としはる)先生  
(平成七年一月十三日没)

昭和四年一月二日生。京都府出身。京都学芸大学卒。昭和四十二年十月大阪市立大学より着任。昭和四十七年教授。昭和六十年より平成五年までの間に三期六年間評議員を併任。平成六年三月停年退職。保健体育科の生理学及び衛生学を担当。

専門は運動生理学。医学博士。名誉教授。

○河野光男(こうの・みつお)先生  
(平成七年二月二十六日没)

明治三十八年二月一日生。広島県出身。昭和六年東京大学卒。昭和二十二年六月岩手県水沢中学校長より長師教授として着任。昭和二十四年信州大学教授。昭和四十五年三月停年退職。英語・英文学担当。専門はシェークスピアなど。名誉教授。

○細野哲雄(ほその・てつお)先生  
(平成七年五月六日没)

大正二年九月十八日生。新潟県出身。昭和元年東京大学卒。昭和十七年長師教授として着任。昭和四十二年信州大学教授。昭和四十八年より二期四年間図書分館長を併任。昭和五十四年四月停年退職。国語科中世文学を主に担当。専門は「鴨長明伝の周辺、方丈記」などの中世文学。名誉教授。

○町田 等(まちだ・ひとし)先生  
(平成七年五月三十日没)

明治三十六年一月一日生。長野県出身。昭和三年東京音楽学校卒。昭和二十二年六月長師教授。昭和三十九年信州大学教授。昭和四十三年四月停年退職。音楽科の器楽・和声作曲学・音楽科教育法を担当。作曲活動を盛んに行われた。

○石川泰男(いしかわ・やすお)先生  
(平成八年四月十五日没)

明治四十三年二月二十二日生。長野県出身。昭和六年東京高等師範学校図画手工専修科卒。昭和二十二年五月長師教授。昭和三十九年信州大学教授。昭和五十年四月停年退職。美術科の絵画・教育法を担当。専門は油絵。名誉教授。

ご挨拶

教育学部長 小林 輝行



同窓会の皆様には、日頃学部の研究教育に格別なご理解を賜り、物心両面にわたる多大なご支援ご協力に對して、衷心より厚く御礼を申し上げます。

さて、総会後において、同窓会の皆様に新たにご報告申し上げなければならぬ事柄について簡単に報告させていただきます。その第一は、教育養成学部の改組状況に関してでございます。平成八年度には、山形大学などの七大学で教養部の廃止もしくは新学部の創設が行われ、併せて教育学部の改組が行われることになりました。それらの大学の改組の内容についてみますと、幼稚園課程、小学校課程及び中学校課程を一つにした「学校教育課程」という形をとる大学と、幼稚園課程と小学校課程とを一つにした「初等教育課程」という形をとる大学の二つの形が出てきておることです。

その第二は、大学院博士課程並びに夜間大学院設置に関してでございます。平成八年度から東京学芸大学と兵庫教育大学の二つの大学を基幹大学とする連合大学院がそれぞれ設置されることになり、また大阪教育大学に夜間大学院の設置が認められました。大学院博士課程、夜間大学

の近況

院の設置の問題が、いよいよ私も学部におきましても具体的検討課題になってまいりました。その第三は、教員養成の質的充実を図り、実践的指導力を身につけた教員を送り出すために、平成八年度より教員養成課程の全一年次生に、子どもと直接触れ合う機会を提供する「教育参加」という科目及び現在の情報化社会に対応した教員養成を行うために、「コンピュータ利用教育」という教育学部に固有な情報教育の科目を設定し、これらの科目を新たに必修としたことであります。以上、簡単に総会後の状況について簡単に報告いたしました。文字通りの激動期でございます。どうか今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

附属長野小学校の移築について

附属長野小学校長 渡邊 時夫

昭和三十六年に建てられた校舎の老朽化が激しいため、附属長野小学校は長野市北堀に、総工費約四十億円を投じて移築されることになった。平成八年三月末に敷地(約三万三千㎡)の買収完了、いよいよ四月から建物の建設が始まった。

主な建物は、鉄筋コンクリート三階建ての校舎および体育館で、児童が学校に行きたくなくなるような雰囲気を持つモダンな設計となっている。授業内容や目的に応じて教室の広さを自在に変えられるオープン・スペース、学年やクラスの枠を取り払って、すべての生徒が思い思いの活動に興ずることができるコミュニケーション・センターは新しい時代の教育にマッチした教育環境として期待されている。また、通称ランチルームは、一学年全員が揃って食事がとれる程の広さ(百六十席)であ

り、様々な目的に使用できる。児童は通用門を抜け、「自然体験園」を通って昇降口に入る。自然体験園には、築山や池があり、川も流れている。様々な植物が茂り、季節を代表する花が咲き、川や池には大小様々な魚や生物が生息し、小道を通れば楽しい自然が体験できる。

畑などとして利用できる「学級園」を含めれば校庭の広さはおよそ一万㎡。百m走の直線コースはゆっくり取れる。

道路に面した北側と東側には間知石(けんちいし)と呼ばれる自然石を積んで一mの高さの囲障を築く。壁面にレリーフを埋込んだ洋風の建物とコントラストが魅力となるであろう。

開校は平成九年四月の予定である。これにより、附属長野小学校は南堀団地に統合され、効率化がはかられることになる。



附属長野小学校の完成予想図

# 教育学部

## 新任教官の紹介

平成六年から八年にかけては教養部の改組などもあり、多くの先生方が教育学部に着任されました(平成六年七名、七年十六名、八年四名)。新任の先生方を紹介します。(自己紹介は原稿をお寄せくださった方のみ掲載いたしました)

**上條 厚** 国語教育(国語学)  
 本学教育学部を二十三年前に卒業しました。現在、松本の外国人留学生の教育と、学部生の国語学・日本語教育学を担当しています。

**山本 清隆** 国語教育(国語学)  
 人文学部の卒業生です。学生時代に教えていただいたことのある京極先生の後任として着任致しました。重責を担っていきけるよう努めていきたいと存じます。

**徳井 厚子** 国語教育(日本語・日本語事情)  
 松本キャンパスで留学生に対する日本語教育に携わっております。経験豊富な先生方からいろいろ学ばせて頂きたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

**駒村 哲** 社会科教育(国際関係論)  
 専門は国際関係論(米ソ関係史)です。ソ連のペレストロイカだけでなく、大学のペレストロイカの影響を実感しています。

**吉田 稔** 数学教育(数学科教育)  
 信州教育にあこがれてやってきました。信州教育の本質は何なのか、また、その中で、数学教育

は、どのような歴史の変遷を経て今日に至っているのか、自分の目で確かめたいと考えています。

**宮崎 樹夫** 数学教育(数学科教育)

**中村 正人** 理科教育(物理)

**勝木 明夫** 理科教育(化学)

**坂口 雅彦** 理科教育(生物)

腔腸動物ヒドラ・水クラゲの神経系を研究しています。野生のヒドラを発見した方はご一報下されば幸いです。見学大歓迎です。

**榊原 保志** 理科教育(理科教育)

教育学部における専門とは何かを問いながら、授業内容や教育課程を考えていきたいと思えます。

**長谷川博史** 音楽教育(音楽科教育)

信州の美しく、また厳しい自然と風土は、芸術の研鑽の場としてふさわしいように思います。自分を失わず、しかも信州の教育に学びつつ、着実に進んでゆきたいと考えています。

**池田 京子** 音楽教育(声楽)

**岡田 匡史** 美術教育(美術科教育)

長野の厳寒・降雪期に春を待つ中で、新約聖書(ローマ5:3-4)が説く、「試練の通過、希望の約束」を思いました。若齡ゆえ、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

**飯島 俊明** 保健体育(体育学)

**和田 哲也** 保健体育(体育学)

**寺澤 宏次** 保健体育(体育学)

**吉澤 文雄** 保健体育(運動学)

**折口 築** 保健体育(運動学)

**渡部かなえ** 保健体育(学校保健)

**大竹 芳夫** 英語教育(英語学)

**山崎 達郎** 英語教育(英語科教育)

**都築 繁幸** 障害児教育(障害児教育)

**小松 伸一** 学校教育(教育心理学)

**越智 康詞** 学校教育(教育社会学)

**下田 好行** 学校教育(教育内容・方法論)  
 出身は群馬県の藤岡市です。東京の嘉悦女子短期大学よりこちらに移りました。授業分析と生徒指導を中心に研究を進めています。今、信州の空の青さと山々の美しさに感動しています。一生懸命頑張りたいと思います。

**別府 桂** 志賀自然教育研究施設(自然教育)

**東原 義訓** 教育実践研究指導センター(教育工学)

飯田高校卒業後、筑波大学を経て本学に着任。二十二年ぶりの信州。

## 平成七年度転退職教官の紹介

次の五名の先生方が停年および転任により退職されました。

**飯田 忠文** 先生(音楽教育) 昭和二十九年着任

**新海 寛** 先生(数学教育) 昭和三十六年着任

**加藤 紀之** 先生(英語教育) 昭和三十七年着任

**岡野 光治** 先生(理科教育) 平成三年着任

**大島 真** 先生(英語教育) 平成四年着任、実践女子大学へ転出

会員の声



懇親会で講師を囲んで

会費納入に係って思うこと

— 地方理事として —

清水貫司

本会から会費納入についての要請文書、振込用紙、名簿等が毎年送られてきますが、昨年は地区内未納会員に一七〇余通を封入し、宛名書きをして出したところでした。

二月には早速、本部からその納入状況(郡市別、氏名)が集計され送られてきました。

それで、地区内の納入状況がわかり、大変有難く思っています。本会の事務局(伴さん)の苦勞を多とします。

それにしても、もう少し簡便で納入実績の上昇する方法はないものかと思いを巡らすこともしばしばです。

せめて地区内では、卒業年次ごとに責任者(代表会員)が決められており、その方々に同期のよしみで依頼しながら配布できるような方法はとれ

ないものか、そんなことの出来る簡便な組織(支部)があったらなあ、と思うこの頃です。

そうすれば納入実績も上がり、会員の交流や親睦も結果的に多少図られるのではないか、そんな思いが募っています。

今、一期卒業生を中心に、初歩的なものでいいから、そんな組織をつくりたいとして、検討しているところです。

また、学部から学生の教員合格者数が低下していることを聞くにつけ、在学生との交歓の機会があったら……そんな想いも抱いています。

いづれにしても、学部充実、会員交流の促進の一翼を担っている会費納入について、今後も協力していきたいと思っています。(下伊那)

今時の高校生雑感

池田 實

今時の高校生を、かい間見るにつけ、私の感想を述べてみたい。

まず、朝の挨拶がわりの会話は昨夜のテレビの内容から始まる。皆、テレビが大好きなのである。これは私の想像をはるかに越える程強い。一日中でも飽きないらしい。そう云えば最近の番組は、実にヤング受けするように作られている。私共があまり見たくない訳がこの辺りにあるらしい。

次に、何でもジャンケンで決める。何をやるにでもある。又、不思議なのはトイレも二人でやってくる。一人が近くで待っている。トイレ位、一人ですませろ、と云いたい。主体性が無いのである。一人で居るのが心細いのかも。いずれにしても誰れかが居てくれないと不安なのである。この現象はいわゆる進学校と云われる学校も同様であ

る。

又、教員同士もそうであるが、挨拶をしなくなった。我々は、先輩の落ち着きと貫禄には圧倒されるばかりで、大人の姿を見たものだ。こうしていつも目標とすべく姿が先輩にはあった。自分がその年になってしまえば、それ程だったとは忘れてしまいが、後輩であった時に抱いた、その気持は常に頭にあった。つまり後輩の手本にならなければ、と云う意識は知らない間に持つようになった。そんな昔の私の思いは現在、目の前の高校生のこのだわりの無さに驚き、そして何か香りの無いコーヒーを啜るような寂しさを感じている。灰汁の無いふきのとうは毒にも薬にもならない。クラブ活動でも、三年も一年も、皆同じように動く、これが民主化というものなのか。

「長幼の序」と云う中国の古い言葉、これはもはや死語なのか。封建的儒教の教えとして日本人の中から消えたのだろうか。(中野西高校)

平成七年度教育学部卒業生の進路

進路	先	人数
長野県	義務教育教員	138
長野県	高校教員	2
県外	教員	34
民間	企業員	36
公務	員	15
大学院	進学等	43
その他		47
合計		315名

平成8年5月1日現在

# クラス会・同級会だより

## 第二十六回美術科同窓会

平成八年一月五日、長野市の「あさひ荘」において四十名ほどの参加をえて開催されました。田幸重彦会長、学部専攻主任の挨拶、議長選出・会務・会計・監査報告等の議事後、上田女子短大の山本秀麿氏による「個人画集出版のすすめ」の講演が行われました。先輩諸氏と共に美術や教育談義を通じて交流を深め、再会を約し有意義に終了しました。



## 生態研究室同窓会が発足

信州大学教育学部生態研究室の同窓会設立総会が昨年(日七)十一月二十五・二十六日に戸隠の「宿坊極意」で卒業生四十五名参加のもとに開かれ、同窓会が発足しました。この宿坊は、研究室が毎年五月に主催し、今年で四十五周年を迎える「戸隠探鳥会」の宿であり、卒業生の共通した思い出の場所です。六十代半ばの卒業生から現役の学生までが一同に会し、世代を越えての語らいの場となりました。

生態研究室の卒業生は、総勢二六〇名。今後二年おきに総会を開き、卒業生相互の親睦の場としてゆくことになりました。

信州大学教育学部生態研究室同窓会  
会長 須山 才二

「教科」「研究室」等のクラス会や同窓会の活動についてもとりあげていきたいと思えます。今年度二つの同窓会を紹介させてもらいましたが、他にも活動されている会があると思います。情報提供おねがいいたします。

## 研究助成海外派遣学生便り

### ドイツと私

バイエルン州ヴュルツブルクより  
学校教育(教育内容・方法論) 若林身歌

葡萄畑に囲まれた煉瓦色の町・ヴュルツブルクに生活して早や半年。「極東の地」(アジアの俗称)日本から来た私には、今なお驚きと感動の新鮮な日々が続いている。

地球の裏側ドイツに住む人々は、おとぎの国の様な街並とは裏腹に、重厚で、家族の団欒を軸とした堅実な生活を送っている。そんな彼らの何よりの楽しみは談話だ。談話を通して、他人の考え方、人間性を知ると共に、自己表現の過程にて、常に「自分」を探り、個性を構築しているのである。

大学で、学生寮で、友人宅で、街角で、休むことなく「私」そして「日本」について明確に表現することが求められるドイツでの生活。今月も談話好きのドイツ人との交流の中、私の「自分」そして「母国」探究は続く。

### カナダ

学校教育(発達心理学) 市川万姫子

私はカナダのオンタリオ湖のほとりにある町、キングストンにきています。湖は凍り、厳しい冬を肌で感じる毎日を過ごしています。

私の通うクイーンズ大学の英語コースには、韓国、ベネズエラ、メキシコなど様々な国から英語を学ぶ生徒が集まっています。文化、食生活そして言語の違いを知ると、自分は「日本人」であるということは何よりも強く意識させられます。

英語で自分の気持ちを伝えることは、実に大変なことであり、もどかしい思いをすることもしばしばです。小さなあいさつ一つにしても、言葉が本当に重要なものであるのだとわかります。

この生活の中で、多くの人と知り合うことができました。文化、言葉、国境を越えて人々とふれあい、お互いを理解しようとすることは、困難もあるけれど、それ以上の喜びがあるのだと思います。

このような機会を与えていただきありがとうございます。

信州大学教育学部同窓会 第九回通常総会(通知)

日時

平成8年8月11日(日) 午前10時より

会場

長野市県町「ホテル国際21」

次第

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 議長団選任
4. 議事録署名人の選任並びに書記の任命
5. 議事

第一号議案 平成7年度事業報告、収入・支出決算及び財産目録の承認について

第二号議案 平成8年度事業計画(案)及び収入・支出予算(案)の承認について

第三号議案 役員交代と補充について

6. 来賓祝辞
7. 閉会宣言

総会後、11時より記念講演会、その後12時45分より懇親会を行います。

記念講演 (一般公開) 十一時より

「不思議の島・マダガスカル」

大阪市立大学教授

山岸 哲氏



より、文部省科学研究費(国際学術研究)を得

アフリカの東、インド洋上に位置するマダガスカル島は、ガラパゴス諸島・ハワイ諸島と並び、進化の実験室と呼ばれる珍しい生物の宝庫である。一九八九年

て、行われている「鳥類の生態調査」の研究代表者である演者から、なぜ今マダガスカルなのかを聞く。

△プロフィール▽

- 一九三九年三月 須坂市生まれ
  - 一九六一年三月 信州大学教育学部卒業
  - 一九六一年四月 長野県公立中学校理科教諭
  - 一九七一年四月 信州大学教育学部助手
  - 一九七五年四月 京都大学理学部動物学教室研究員
  - 一九七五年十月 大阪市立大学理学部講師
  - 一九七七年五月 京都大学理学博士取得
  - 一九八三年十月 大阪市立大学理学部助教授
  - 一九八八年四月 大阪市立大学理学部教授
- 現在に至る

日本鳥学会会長、日本生態学会英文誌編集委員、文部省学術審議会専門委員、文化庁文化財保護審議会専門委員、環境庁地球環境企画委員会委員、京都大学生態学研究センター運営委員、朝日新聞週間百科「動物たちの地球」編集委員、信濃毎日新聞書評委員など

△主な著書・訳書▽

「現代の鳥類学」(朝倉書店)、「モズの嫁入り」(大日本図書)、「マダガスカル自然紀行」(中央公論社)、「鳥類の繁殖戦略(上、下)」(東海大学出版会)、「生物の多様性・類縁と系統の生物学」(裳華房)、「行動生態学」(蒼樹書房)、「進化からみた行動生態学」(蒼樹書房) など

記念講演会終了後、「ホテル国際21」において懇親会(会費五〇〇〇円)を開催します。こちらへも多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

◎同窓会費の納入について

本同窓会は終身会費制をとっています。入会時に一万円を納入いただくと、以後の会費徴収はありません。会費を納入くださった会員のみ、この会報を個人宛郵送しております。二重払いのないようご注意ください。

なお、今年度は計一七三人の卒業生の方から会費を納入していただきました。会費納入の働きかけをしていただきました地区理事の皆様ごろうさまでした。

◎同窓会事務局職員の変替

平成七年四月から今までの小島京子さんに代わって伴真理子さんが事務局の仕事をしてくださることになりました。勤務は月・水・金の十時〜四時です。よろしくおねがいします。